

令和元年度第2回蓮田市上下水道事業審議会会議録

日時 令和元年11月22日(金)

午前9時30分～

会場 蓮田市浄水場

管理棟新館2階会議室

〈出席委員〉 門井隆会長、黒須武副会長、勝浦敦委員、小林由美子委員、  
高橋泉委員、高橋健一郎委員、丹下進委員、中川美樹委員、  
中野君男委員、山田正恵委員、

〈事務局〉 中野市長、山崎上下水道部長、増田上下水道部次長兼下水道課長、  
中田水道課長、岡田下水道課副主幹、原田水道課副主幹、  
大塚下水道課副主幹、関口水道課主査、櫻井水道課主事

〈傍聴者〉 2名

- |   |        |                 |                 |
|---|--------|-----------------|-----------------|
| 1 | 開      | 会               | 中田水道課長          |
| 2 | 会長あいさつ |                 | 門井会長            |
| 3 | 市長あいさつ |                 | 中野市長            |
| 4 | 議      | 事               |                 |
|   | (1)    | 公共下水道事業認可区域について | 増田上下水道部次長兼下水道課長 |
|   | (2)    | その他             |                 |
| 5 | 連絡事項   |                 | 中田水道課長          |
| 6 | 閉      | 会               |                 |

## 議事（1）についての主な質疑応答

委員：公共下水道早期実現に向けて、着手する優先順位を決めているのか。

事務局：優先順位は決めてございません。

現在、国の補助金などの財源の整理がついておりません。

委員：公共下水道が整備されていない地域に住んでいるが、月数回の側溝清掃が高齢化とともに困難になってきている。

公共下水道の事で、少し楽になったと思えるような実感がほしい。

事務局：早く公共下水道を整備してほしいとの請願や要望をいただいております、努力を続けていきます。

委員：埼玉県との協議の経過を詳しく教えてほしい。

事務局：埼玉県から国の補助金を投下して整備することに見合う費用対効果の根拠を求められておりますが、市街化調整区域は、面積に対して住んでいる方が少ないため、よい数字となりません。

国や県の考え方は、人口が減少していく社会を迎え、新たな公共施設の整備について、厳しい姿勢となっております。

委員：給水車は、現在何台所有されておりますでしょうか。

事務局：平成 30 年度に新たな給水車を購入した 1 台がございまして、それ以外にも、それまで使用しておりました大型の給水タンク（1.5 t）を平置きトラックに積載することで、給水車と同等の効果があるものでございますが、併せて計 2 台となりますという事で、ご理解いただければと思います。